

生誕100年 ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2018年
12月19日（水）

フクシマに心をよせてー飯館村、浪江町の仮設住宅へ

行き場のない弱者（高齢者）が安倍暴走政治の犠牲に

今年もあとわずかとなりました。

福島県相馬郡飯館村の仮設住宅に住む、高齢者の方がたに、今年も「ちひろカレンダー」を贈呈します。

日本原水協は、東京電力福島第一原発事故直後から、全国のみなさんの募金で、毎年カレンダーを届けてきました。多くの避難者が、公営住宅や復興住宅などに移るなか、今も116世帯が仮設住宅で暮らしています。

「帰還はいろいろ問題がある。戻ってきたのは孫と離れた高齢者だ。行き場のない弱者はどうしたら良いのか。そんな方たちにちひろカレンダーは嬉しいねえ」と佐藤八郎飯館村議。

また、双葉郡浪江町の担当課からも「公営住宅に移る方が多くなり仮設住宅は減ってはいますが、ぜひ今年もお願いします」と要請がありました。あわせて500本を贈ることになりました。

望（忘）年会など、年末の諸行事が続きます。そうした機会に是非、被災地カレンダー贈呈募金をお願いします。



※郵便振替用紙又は郵便振替口座（00110-9-1780原水爆禁止日本協議会）に
＜被災地カレンダー＞と明記してお振込みください。

完全普及まで、もうひと押しです！

全国のみなさんのご奮闘、ご協力により「2019年ちひろカレンダー」の完全普及まであと約300本のところまでできました。来年は核兵器廃絶へ世界と日本で変化のうねりをつくる大きな運動のためにも、カレンダーが届いていない方に、ちひろのメッセージとともに、原水協の活動を知っていただくことも大きな力になります。ぜひ声かけをお願いします。

10本から送料負担します。ご協力ください。